

菊の魅力で地域に貢献

山部菊の会



▲今年で33回目を迎えた山部菊花展。600点以上の作品が並べられる



◀ 来年に向け苗を自宅ハウスで管理する鎌田会長

▶ 子どもたちから贈られたたたくさんの絵手紙



毎年文化祭にあわせて山部の生涯学習センター体育館で開催されている「山部菊花展」。鮮やかな色彩を放つ菊の作品で、来場者を迎えています。
この日のために、1年かけて作品を手がけている山部菊の会（鎌田登会長）は、山部に住む愛好者たちが集まり、昭和56年に会を設立、現在9人の会員が活動しています。設立当初には20人が会員となり、過去には千

点に上る作品や、絵画を背景にした芸術的な作品も展示されていました。
会の活動は5月の初めころに、根だし作業をした苗を会員に渡し、秋の菊花展に向けてそれぞれが生育することから始まります。1本の根からたくさんの花を咲かせる作品は、それぞれ形や大きさなどが決められており、大きな作品では、2年をかけて製作するものがあります。秋に花の色が見えてくると、「苦労した甲斐があった」と達成感、充実感を感じるそうです。
会では、毎年菊に関する講習会や実習なども開催。日照時間で花を咲かせる時期を調整したり、講師を招

いて菊について学ぶなど、会員の技術向上も行っています。
また、山部小学校では会のメンバーが講師となり、毎年児童に菊の作品づくりを指導。子どもたちからは、作った感想や感謝の気持ちを書いた絵手紙などが会に贈られ、菊を通じた地域交流も積極的に行われています。

菊を育てる上では、土づくりが一番大切な作業で、木の葉を醗酵させて手作りで肥料を作るなど、来春も土づくりから活動が始まります。「花が満開になるまで、生き物のように手をかけることが楽しいです」と菊づくりの魅力を話す鎌田会長。「会員も高齢になりましたが、一緒に菊づくりを楽しんでもらえる会員を募集しています。興味のある方はぜひ、一緒に作品を作りましょう」と地域を盛り上げるために、まだまだ活動に意欲を燃やしています。

山部菊の会では会員を募集しています。興味のある方は鎌田登会長（☎42・2291）にお問い合わせください。